



報道関係者各位

令和 7 年 10 月 2 日
独立行政法人国立科学博物館

企画展「学習マンガのひみつ」 開催及び報道内覧会実施のお知らせ

国立科学博物館（館長：篠田 謙一）は、2025(令和 7)年 10 月 10 日(金)から 11 月 9 日(日)までの期間、下記のとおり企画展「学習マンガのひみつ」を開催いたします。

また、本展の開幕に先立ち **10 月 9 日(木)17 時 30 分から 19 時 00 分の間**、別添のとおり報道内覧会を実施いたしますので、併せてご案内申し上げます。

近年、教育関係者やマンガファン、出版関係者など、さまざまな立場の人々から「学習マンガ」が注目されています。学校図書館や書店の児童書コーナーには、これらの書籍が並ぶ棚が大きな一画を占め、戦前からの古い歴史もあり、また大きな出版市場を形成しているジャンルです。しかしながら、これまでその全体像を俯瞰するような書籍や展覧会はありませんでした。

本企画展は、“見えないマンガ”と言われる「学習マンガ」を、教育博物館として誕生した国立科学博物館にて、内容や表現方法の歴史的な変遷に注目し、「マンガで学ぶ」ことの可能性について多角的に紹介する初めての展覧会となります。

広報に関して特段のご支援・ご協力を賜りたくお願いいたします。



企画展「学習マンガのひみつ」
メインビジュアル
(マンガ：久世番子)

記

【企画展名称】 企画展「学習マンガのひみつ」

【開催場所】 国立科学博物館(東京・上野公園) 日本館 1 階 企画展示室及び中央ホール

【開催期間】 2025(令和 7)年 10 月 10 日(金)～11 月 9 日(日)

【開館時間】 9 時～17 時

※入館は閉館時刻の 30 分前まで

【休館日】 月曜日、10 月 14 日(火)、11 月 4 日(火)

※ただし 10 月 13 日(月)、11 月 3 日(月)は開館

【入館料】 一般・大学生:630 円(団体 510 円)、高校生以下及び 65 歳以上:無料

※本展は常設展示入館料のみでご覧いただけます ※団体は 20 名以上

※入館方法の詳細等については、当館ホームページをご覧ください

<https://www.kahaku.go.jp/>

【主催】 国立科学博物館、京都国際マンガミュージアム、京都精華大学国際マンガ研究センター

【特別協力】 学習マンガ研究会

【協賛】 株式会社 Gakken、株式会社 KADOKAWA

【後援】 日本マンガ学会

【展示概要】 別添の本展チラシ参照

【お問合せ】 国立科学博物館 展示部 企画展示課 企画展担当

〒110-8718 東京都台東区上野公園 7-20

TEL:03-5814-9887 FAX:03-5814-9898 E-mail:kikakuten@kahaku.go.jp

令和7年10月2日

報道関係者各位

独立行政法人国立科学博物館

企画展「学習マンガのひみつ」

報道内覧会のお知らせ

2025(令和7)年10月9日(木)17時30分～／国立科学博物館

国立科学博物館では、企画展「学習マンガのひみつ」の開幕に先立ち、下記のとおり報道内覧会を実施いたします。

当日は、本展監修者、特別協力者による展示解説を行いますので、ぜひご参加いただき、記事として取り上げていただければ幸いです。

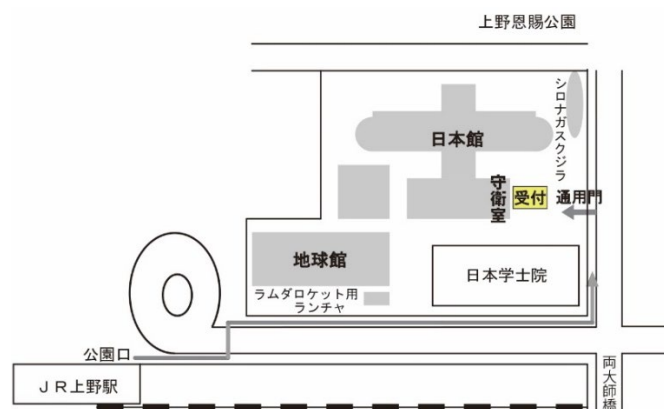
記

【日時】 2025(令和7)年10月9日(木)
17時30分～19時00分(受付開始 17時00分～)

【会場】 国立科学博物館(東京都台東区上野公園7-20)
日本館1階 企画展示室及び中央ホール

【受付場所】 日本館1階守衛室前 ※下記地図の通り通用門からお入りください

【アクセス】 JR上野駅公園口から徒歩5分
東京メトロ銀座線・日比谷線上野駅7番出口から徒歩10分
京成電鉄京成上野駅から徒歩10分
※駐車場及び駐輪場の用意はございません



【当日のスケジュール】

17時00分～ 受付開始(受付場所: 日本館1階守衛室前)

17時30分～19時00分 報道内覧会

※17時30分から約30分間、本展の監修をした国立科学博物館の研究者が展示解説を行い、皆様からのご質問にお答えします

【お申込み方法】

報道内覧会に参加を希望される方は 10月8日(水)17時までに、以下必要事項を記載の上、国立科学博物館企画展担当 kikakuten@kahaku.go.jp あてメールにてお申込みください。

- ・ 件名：企画展「学習マンガのひみつ」報道内覧会申込
- ・ お名前
- ・ ご所属
- ・ 緊急連絡先(携帯電話番号)
- ・ メールアドレス

※代表者の方がまとめてお申込みをされる場合も、すべての参加希望者について、上記の必要事項をご記入願います。

上記アドレスより折り返しのメール連絡をもって受付完了とします（概ね3日以内にお返事します）。迷惑メールの設定などをされている場合は、受信できるようにご設定ください。

※いただいた個人情報は、報道内覧会以外の連絡には使用しません

厳重に管理し、報道内覧会終了後、1ヵ月以内に破棄いたします

【本展監修者】



国立科学博物館 理事・副館長
栗原 祐司（くりはら ゆうじ）

専門は博物館学です。マンガや小説による博物館活動の理解促進と普及に努めています。近年は、個人博物館の持続可能な運営について研究しており、全国各地の多様な博物館を訪問しています。



国立科学博物館 植物研究部 陸上植物研究グループ研究員
永濱 藍（ながはま あい）

専門は植物生態学・分類学。植物の開花・結実期がどのような環境の影響を受けて形成され、変動しているのかを明らかにしたいと思っています。また、東・東南アジアにおける植物の多様性にも興味を持って研究しています。



京都精華大学 国際マンガ研究センター特任准教授／学習マンガ研究会
伊藤 遊（いとう ゆう）

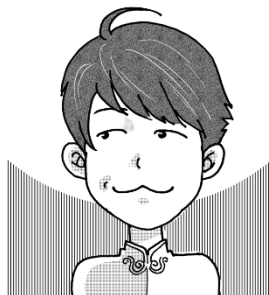
専門はマンガ研究・民俗学。民俗学的な視点から、マンガ文化の「日常性」に関心を持っています。また、「京都国際マンガミュージアム」を中心に、国内外でマンガ展の制作も行ってきました。最新作はマンガミュージアムで開催中の「マンガと戦争展2」。



京都産業大学 現代社会学部教授／学習マンガ研究会

山中 千恵（やまなか ちえ）

専門は社会学、韓国ポピュラー文化・マンガ研究。教育と娯楽というふたつの要素が絶妙なバランスを保って成立する、「学習マンガ」の表現や歴史、グローバルな広がりに関心を持っています。また、韓国ドラマの研究も行っており、近著に『韓国ドラマの想像力』（共編著、人文書院、2024年）があります。



公益財団法人東洋文庫研究員／歴史学習マンガ家／学習マンガ研究会

瀧下 彩子（たきした さえこ）

東洋文庫では近代日中文化史をテーマとして、日中戦争前後の大衆文化の諸相を、当時のマンガや旅行案内・鉄道関係資料などから観察しています。一方で、学習雑誌に掲載するマンガの執筆に携わり、近年は Gakken や KADOKAWA の歴史学習マンガを担当しました。

【お問合せ・お申込み先】

国立科学博物館 展示部 企画展示課 企画展担当

〒110-8718 東京都台東区上野公園 7-20

TEL: 03-5814-9887 FAX: 03-5814-9898 E-mail: kikakuten@kahaku.go.jp

広報用写真提供

広報用として写真をご用意しております。

国立科学博物館ホームページの「各種手続き・報道関係資料」→「写真の貸出」からお申込みできます。
(<https://www.kahaku.go.jp/procedure/rent/index.html>)



①企画展「学習マンガのひみつ」
メインビジュアル(マンガ:久世番子)

【記事利用の際のお願い】

- * 写真使用は本展の紹介目的のみとさせていただきます。本展終了後の使用はできません。
- * 写真掲載時には、資料のクレジットを必ずご記載ください。
- * 記事のなかで、会期、入館料、開館時間などの基本情報をご掲載いただく場合は、確認のため、下記担当まで校正原稿をお送りください。
- * ご掲載いただいた場合は、掲載誌等をお送りくださいますようお願い申し上げます。

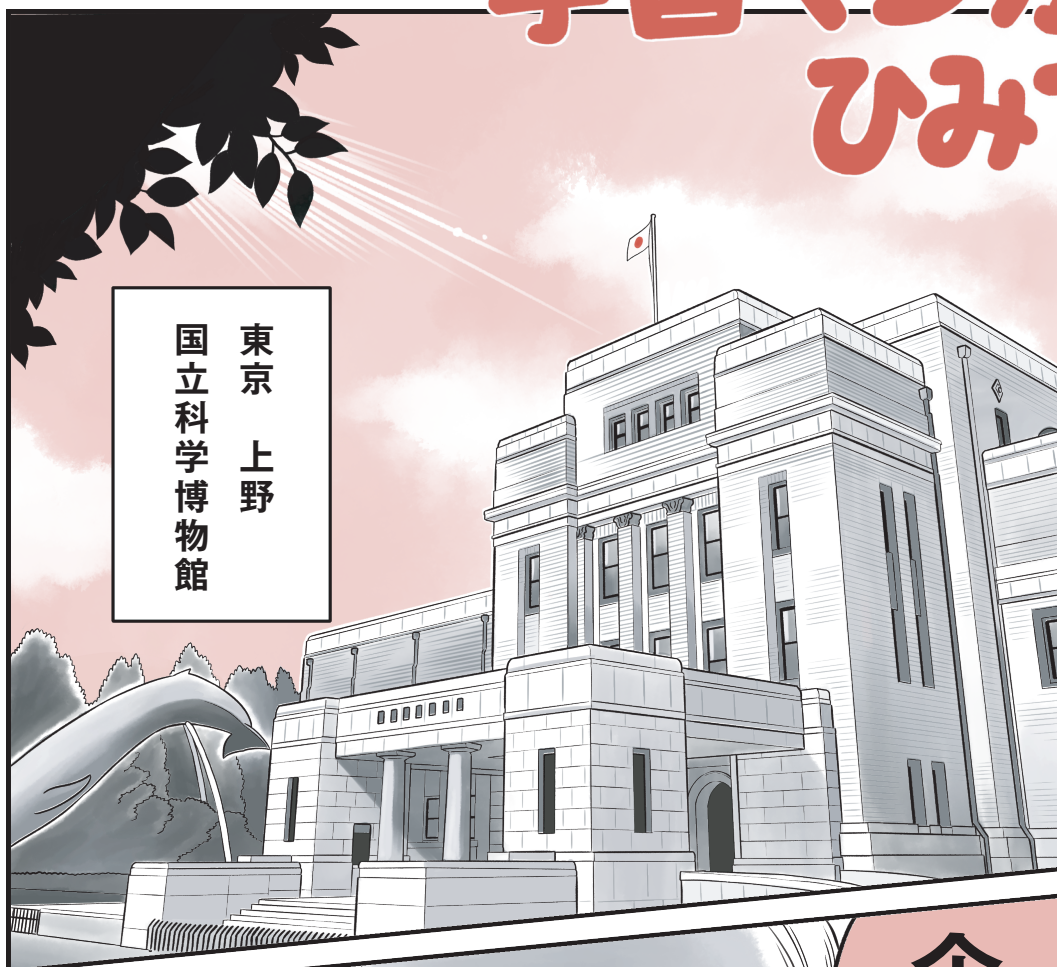
〈お問合せ先〉 国立科学博物館 展示部 企画展示課 企画展担当
電話 03-5814-9840, 9883, 9887 FAX 03-5814-9898
E-mail: kikakuten@kahaku.go.jp 〒110-8718 東京都台東区上野公園7-20



国立科学博物館
National Museum of Nature and Science

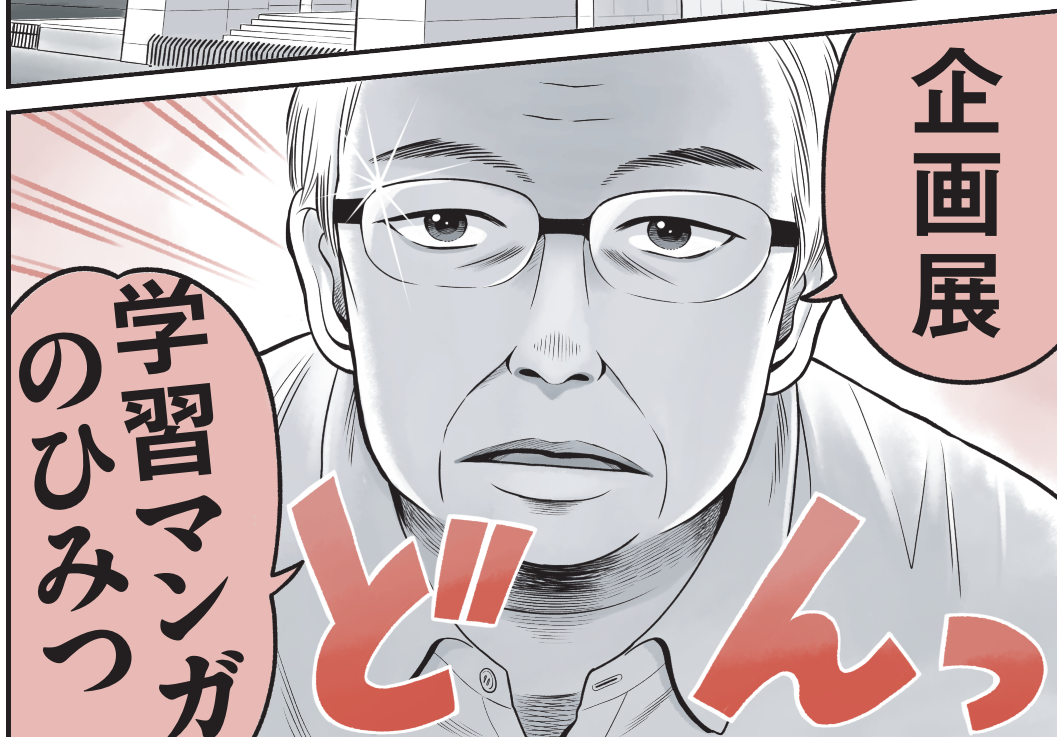
学習マンガの ひみつ

科学から歴史、伝記まで！
見逃せない！！



国立科学博物館

(東京・上野公園) 日本館1階企画展示室＋中央ホール



マンガ：久世番子

2025 **10/10 (金) ▶ 11/9 (日)**

開館時間 / 午前9時～午後5時 ※入館は閉館時刻の30分前まで

休館日 / 月曜日 (月曜日が祝日の場合は翌火曜日)

入館料 / 一般・大学生630円 (団体510円) ※団体は20名以上

※常設展示入館料のみでご覧いただけます ※高校生以下および65歳以上無料

主催 / 国立科学博物館、京都国際マンガミュージアム、
京都精華大学国際マンガ研究センター

特別協力 / 学習マンガ研究会

協賛 / 株式会社 Gakken 後援 / 日本マンガ学会

学習マンガの ひみつ

科学から歴史、伝記まで！見逃せない！！

近年、教育関係者やマンガファン、出版関係者など、さまざまな立場の人々から「学習マンガ」が注目されています。学校図書館や書店の児童書コーナーには、これらの書籍が並ぶ棚が大きな

一画を占め、戦前からの古い歴史もあり、また大きな出版市場を形成しているジャンルです。

本企画は、“見えないマンガ”と言われる「学習マンガ」を、多角的に紹介する初めての展覧会です。



第1部

学習マンガの歴史

第①章 学習マンガのはじまり 戦前～1950年代

戦中、「科学教育」が重視されるなかで、子ども向けマンガは、「荒唐無稽」なものとなみなされ、排除されつつありました。学習マンガの源流のひとつは、「マンガが社会的に有用」であることを示そうと努力したマンガ家たちの取り組みにあります。戦後も、子ども向け娯楽マンガはしばしば「悪書追放」の対象となりましたが、一般書の全集ブームを背景に、教科学習を念頭に置いた子ども向け学習マンガシリーズも登場します。

第②章 学習マンガの拡大 1970年代～

1970年前後から、「日本の歴史」といったタイトルのついた、学校での学習内容を意識した通史としての歴史科系学習マンガがシリーズとして登場します。一方、いわゆる学年誌や科学雑誌などに掲載されていた理科系学習マンガが、単行本シリーズとして刊行され始めます。1980年代に入ると、子ども向けとして発展してきた学習マンガの手法を使った「大人向け学習マンガ」が「発明」されます。これらは、赤塚不二夫や石ノ森章太郎といった人気作家が手がけたことで、ベストセラーになるものも登場します。

第③章 学習マンガの新展開 2000年代～

2000年代以降、一般的には子どもの娯楽でしかないと思われていたマンガそのものが「文化・芸術」として認識されるようになっていきます。教育現場においても、娯楽として発展してきたマンガが受け入れられるようになりますが、そのことで学習マンガのアイデンティティが揺らぎ、新たな方向性が模索され始めます。学習マンガの娯楽化は大胆なコマ割りを採用したり、「対決」や「冒険」といった少年娯楽の構造を導入したりするなど、表現方法や構造の大きな変化をもたらしました。また、海外出版社との共同制作が進むなど、学習マンガのグローバル化が進みます。

第④章 学習マンガの現在

教科教育をベースに発展してきた学習マンガですが、学校における教育内容の多様化とともに、学習マンガの扱う「学習」の範囲も拡大しつつあります。SDGsや人間関係、お金の知識など、大人向け自己啓発書で人気のテーマが子ども向けの学習マンガでも展開されるようになっていきます。一方、学習マンガの娯楽化は、同時に、娯楽マンガの学習マンガ化ももたらします。従来のストーリー娯楽マンガを学習のツールとして活用する教育プロジェクト「これも学習マンガだ！」が教育現場でも採用されるなど、ますます活況を呈する学習マンガからまだまだ目が離せません。

ふい
ふい...

企画展
「学習マンガのひみつ」

※詳細はホームページをご覧ください。



～この展覧会における「学習マンガ」の定義について～

本展では、典型的な学習マンガとして、子どもを読者とし、義務教育の教科内容を解説したものを中心に扱います。具体的に言えば、書店のマンガコーナーではなく、児童書・参考書コーナーで売られており、学校や公共図書館などでも広く読まれているマンガです。さまざまな教科に対応したサブジャンルがありますが、今回は、「理科」「歴史」、そして「伝記」を扱った学習マンガに注目します。

第2部

トピック紹介

- 科博とマンガ
- 植物系学習マンガの変遷
- 植物学へといざなう学習マンガ
- 身近になった植物マンガ
- これも学習マンガだ！

Topic



国立科学博物館

〒110-8718
東京都台東区上野公園 7-20
TEL.050-5541-8600 (ハローダイヤル)
FAX.03-5814-9898

HP <https://www.kahaku.go.jp/>

- ・JR「上野駅」公園口から徒歩5分
- ・東京メトロ銀座線・日比谷線「上野駅」7番出口から徒歩10分
- ・京成電鉄「京成上野駅」正面口から徒歩10分

※館内に駐車場および駐輪場はございません。